



赤磐

令和4年9月議会 第71号

市議会だより



CONTENTS

9月定例会のあらまし……………	2P
委員会のうごき……………	6P
14人の議員が一般質問……………	10P

9月定例会のあらまし

議案審議

9月定例会を8月30日から9月29日まで31日間の会期で開催した。人事案件5件を適任、決算10件を認定、議案13件を可決、請願2件を採択とした。
また、委員会発議の意見書2件を可決とした。

令和4年度補正予算（一般会計・特別会計）を可決

主な内容（歳出）

一般会計（2億1663万円増額）（第5号）

- ・産地パワーアップ事業助成金（1854万円）※関連記事7ページ
- ・赤坂ファミリー公園テニスコート改修に係る経費（8960万円）

一般会計（3億7719万円増額）（第6号）

- ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業（2億3342万円）
- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に係る経費（1億4377万円）

一般会計（第6号）

問 住民税非課税世帯等臨時特別給付金について、1世帯当たり5万円の給付金との説明だが、年代別内訳は。

答 非課税世帯は、3956世帯である。20代・30代が307世帯、40代・50代が477世帯、60代が419世帯、70代以上が2753世帯で、支給世帯のうち、60代以上が80%である。また、対象は昨年度の住民税非課税世帯である。

問 対象者への対応はどのようにするのか。

答 プッシュ方式ですべての対象者に案内

を送付する。

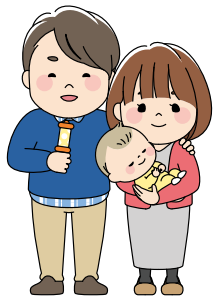
問 新型コロナウイルスワクチン接種委託料1億2347万円の詳細説明を。

答 コールセンター業務委託料、集団接種会場運営業務委託料、医師や医療機関へ支払うワクチン接種委託料、また、廃棄物処理や送迎バスの委託料などである。

問 会計年度任用職員は集団接種等のために新たに雇用するのか。

答 現在の任用期間が9月末までのため延長する。

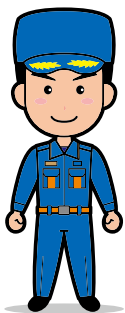
赤磐市職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例を可決



問 非常勤職員の処遇改善につながるのか。

答 非常勤職員が育児休業を取得する際の条件緩和、また、配偶者と交代で取得できるなど、これまでよりも取得しやすいう環境になる。

赤磐市消防団条例の一部を改正する条例を可決



問 条例改正の目的は。

答 報酬など消防団の処遇を改善することで消防団員を確保することが目的である。

問 警戒を警戒・待機と改正した理由は。

答 警戒とは、火災鎮火後の再燃防止活動。待機とは、風水害が予想されるに、即時対応するため消防団員が消防団機庫に詰めておくことである。活動の負荷等を勘案して同じ区分にした。

討 論

認第1号 令和3年度赤磐市一般会計歳入歳出決算の認定について

【反対討論】

(1人)

▽令和3年度の当初予算で、子供の医療費を高校生まで完全無料にすること、高校生の通学費補助の拡充をすること、中央給食センターの調理部門の民間委託を直営方式に戻すことを要望したが、実現できていないため決算の認定に反対する。

認第2号 令和3年度赤磐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

【反対討論】

(1人)

▽高い国民健康保険税をいかに引き下げて払いやすくするかという提案で、高校生以下の子供の均等割の免除や減免することを主張しているが、実現できていないため決算の認定に反対する。

請 願

請願第3号 医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める請願

【採択】

【要旨】

新型コロナウイルスの感染拡大から2年以上過ぎ、医療提供体制や保健衛生行政の強化は喫緊の課題である。

国民の命と健康を守っている全ての医療機関や介護事業所と、そこで働く全ての労働者の労働環境を抜本的に改善させる対策が急務である。医療・介護・保育・福祉などの現場で働く全ての労働者の賃金を大幅に改善できる予算措置が必要である。

【賛成討論】

(1人)

▽政府は、看護師、介護士、保育士など、公定価格で規定されるケア労働者の賃金引き上げを行うことを明らかにしたが、示された額や範囲は限定的であり賃金改善を実感できる水準ではない。請願の趣旨を理解し賛同をお願いする。

【反対討論】

(1人)

▽エッセンシャルワーカーには、運輸や物流、小売業、バス、タクシーなど公共交通に携わる方もいる。その人たちの賃金をないがしろにして、医療・介護・保育・福祉に絞って税金で賃金を補助するには非常に不公平で片落ちであると考える。憲法で定める法の下での平等に反する請願には反対する。

請願第4号 精神保健医療福祉の改善に関する請願

【採択】

【要旨】

日本の精神科医療は、諸外国に比して半世紀以上の後れを取っている。一般病院に比して診療報酬は低く抑えられ、施設の医師や看護師などの体制も半分以下と極めて少ない状況である。

日本は、2014年に障害者権利条約を批准していて全ての人の人権が尊重され、患者、利用者本位の精神保健医療福祉に転換することが必要である。新型コロナウイルスパンデミックの長期化

によるメンタルヘルス対策の強化も喫緊の課題となっている。

【賛成討論】

(1人)

▽精神科病院は、手厚い医療・介護・看護体制が必要のため一般病院よりも多くの人手が必要である。しかし、精神科病院の診療報酬は一般病院の29・6%と定められ、医師や看護師の配置も半分と低い基準が定められ精神科医療と一般の医療には格差がある。誰しも精神障害や認知症になる可能性はある。誰もが安心して暮らせる社会を共につくるために請願の採択をお願いする。

発 議

発議第6号 医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める意見書

【可決】

【要旨】

- 1、医療・介護・保育・福祉などの現場で働く全ての労働者を対象とした賃上げ補助を全額国庫負担で事業所や施設に対する支援を行うこと。
- 2、介護・保育・福祉などの現場で働く労働者の所定内賃金を全産業平均の水準になるよう対策を講じること。
- 3、医療の現場で働く労働者の賃金については、OECD平均以上の水準になるよう対策を講じること。

提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣。

発議第7号 精神保健医療福祉の改善に関する意見書 **【可決】**

【要旨】

- 1、良質な医療を提供し、隔離、拘束を原則として廃止できるように、精神科専門職の配置基準を引き上げること。一般病床より低い人員配置を認めている医療法施行規則を改め、精神病床の人員配置を改善すること。
- 2、精神疾患や認知症があっても地域で安心して生活できるように、早い段階から適切な支援と治療を受けることができる包括的で継続的な支援体制の整備を国が行うこと。差別や偏見をなくすための啓発を促進し、施策には当事者と家族の声を尊重して反映させること。
- 3、入院中心から地域への移行を円滑に進めるために、精神保健医療福祉予算の拡充や職員の雇用保障、教育、研修を国が責任を持って行うこと。
- 4、新型コロナウイルス感染症の拡大による新たな生活様式に対応したメンタルヘルス対策を早急に講じること。

提出先 内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣。



人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員は全14名のうち5名が令和4年12月31日に任期満了となるため、議案が提出され、採決の結果、次のとおり適任とした。

人権擁護委員

高坂 昌太

(桜が丘西1丁目)

佐藤 佳子

(山陽5丁目)

越宗 勇

(西窪田)

関藤 裕子

(桜が丘東2丁目)

清水 紀子

(周匝)

令和5年1月1日
令和7年12月31日

タブレット端末の導入について

議会ICT推進委員会

導入までの経緯

タブレット導入検討専門部会の設置

平成30年、議会改革検討委員会に「議会へのタブレット端末の導入について」の提案があり、調査研究の結果、令和2年に議長に対し、導入を検討するよう意見書を提出した。

令和3年、議会改革検討委員会にタブレット導入及び適切な運用について検討するよう、議長から諮問があった。

議会改革検討委員会に「タブレット導入検討専門部会」を設置し、真庭市議会、備前市議会を先進地視察するとともに、タブレットで使用する会議システムの機能説明を受けるなど、タブレット導入によるメリット、デメリット等の調査研究を行った。

調査結果を基に答申書を作成し、議会改革検討委員会から、議長に答申を行った。

*タブレット端末の使用等に関する規程を作成し、導入時期を令和4年度中とした。

*タブレット端末導入に向けての諸課題の検討、具体的な運用方法を検討するため「議会ICT推進委員会」が設置された。

議会ICT推進委員会の設置

議会ICT推進委員会では、会議の効率化・活性化、議会・議員の調査能力の向上、ペーパーレス化による経費の削減の推進、連絡事項の早期伝達、事務の負担軽減を目的に議員主導で導入することを決めた。

現在は、11月からの本格運用に向け、ペーパーレス会議システムの機能・使用方法について10月7日、31日の2日間研修を受けるなど、議員・執行部幹部が個々のスキルアップを目的に研鑽を積んでいる。



タブレット研修

導入後について

ペーパーレス化を目標に、令和4年12月議会までを紙資料とタブレットを併用、令和5年3月議会からは一部資料を除きタブレットのみで会議を行う予定である。

また、実際に使用していく中で発生した課題に対する検討、より便利な使用方法を共有するなど、議会ICT推進委員会を中心に良い活用方法を継続的に検討していく。

令和4年9月第4回赤磐市議会定例会審議結果

議案番号	案 件	議決結果	牛尾直人	鼻岡美保	安藤利博	永徳省二	大森進次	佐藤 武	佐々木雄司	光成良充	保田 守	大口浩志	治徳義明	原田素代	金谷文則	松田 勲	福木京子	佐藤武文	下山哲司	実盛祥五	
認 第 1 号	令和3年度赤磐市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認 第 2 号	令和3年度赤磐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める請願	採択	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号	精神保健医療福祉の改善に関する請願	採択	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第52号	令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	退席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第6号	医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める意見書	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第7号	精神保健医療福祉の改善に関する意見書	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=賛成 ●=不賛成

※実盛祥五議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わることができません。

※下記に記載する議案については、全会一致で可決しています。

議案番号	案 件	議決結果
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
諮問第6号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
認 第 3 号	令和3年度赤磐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認 第 4 号	令和3年度赤磐市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認 第 5 号	令和3年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認 第 6 号	令和3年度赤磐市宅地等開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認 第 7 号	令和3年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認 第 8 号	令和3年度赤磐市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認 第 9 号	令和3年度赤磐市水道事業会計決算の認定について	認定

議案番号	案 件	議決結果
認第10号	令和3年度赤磐市下水道事業会計決算の認定について	認定
議第40号	赤磐市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第41号	赤磐市消防団条例の一部を改正する条例	可決
議第42号	字の区域の変更について	可決
議第43号	小字の廃止について	可決
議第44号	令和4年度赤磐市一般会計補正予算(第5号)	可決
議第45号	令和4年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議第46号	令和4年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議第47号	令和4年度赤磐市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議第48号	令和4年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議第49号	令和4年度赤磐市宅地等開発事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議第50号	令和4年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計補正予算(第1号)	可決
議第51号	令和4年度赤磐市財産区特別会計補正予算(第1号)	可決

11月25日(金) 議案上程
 11月29日(火) 一般質問
 11月30日(水) 一般質問
 12月1日(木) 一般質問
 12月5日(月) 質疑・委員会付託
 12月7日(水) 総務常任委員会
 12月8日(木) 厚生文教常任委員会
 12月9日(金) 産業建設常任委員会
 12月13日(火) 予算常任委員会
 12月14日(水) 予算常任委員会
 12月20日(火) 最終日(委員長報告・質疑・討論・採決)

※この日程は予定です。日程は、11月17日開催の議会運営委員会で決定します。



決算審査特別委員会

9月9日、12日、13日に決算審査特別委員会を開催し、議案10件について審査した。

一般会計

総務常任委員会所管部分

問 ふるさと納税は黒字になっているのか。歳入歳出の概算について説明を。
答 歳入は、寄附金が3億258万円。歳出は、返礼品代、印刷製本費、郵便代、手数料、サイト利用等の事業費が1億4078万円。一方、市民が市外にふるさと納税をし、税の

控除を受けた金額が3366万円。差し引き約1億2800万円が実質の黒字である。



ふるさと納税返礼品1位、2位

問 連携中核都市圏域内の小学生が指定公共施設を無料で利用できる子どもパスポート事業について、市内の施設は何か所あるのか、その利用状況は。
答 圏域全体で62施設が指定されており、市内では山陽郷土資料館、吉井郷土資料館、石蓮寺みんなの森、熊山英国庭園の4つである。令和元年度は数万人レベルの増員があったが、令和2年度はコロナウイルスの影響で大幅に減少し、令和3

年度は若干持ち直している傾向である。
問 防犯対策費の負担金、補助及び交付金の不用額が76万円あるが、防犯灯や防犯カメラの設置件数が目標に未達で、不用額が発生したのか。

答 防犯灯設置補助金は、当初で240基程度、264万円の修繕があるの見込んでいたが、執行は226基、235万円とほぼ見込み通りであった。防犯カメラ設置補助金は、当初は6基、上限の180万円を予算計上していた。執行台数は6基だが、設置された防犯カメラが低額だったため支出額が132万円となり、不用額が発生した。

厚生文教常任委員会所管部分

問 集会所新築等工事補助事業、地区の実情に合うよう規則改正を

行ったとあるが、どのように反映されているのか。
答 この規則改正は、以前は10万円以上の修繕で補助事業を使うと5年は使えないとなっていたが、50万円以下の修繕については、3年経過すると使えるように改正を行った。その際にバリアフリー化等にも対応できるようにした。

問 廃棄物等収集実績で、排出量が前年度に比べ約430トン増加している。内訳を見ると、新聞、雑誌・雑がみ、段ボールが大きく増加しているが、具体的な内容説明を。
答 紙類が400トン余り増えているが、コロナ禍で小中学校が実施する集団回収が中止され、市の収集として現れたものと考えている。これら紙類は資源物として分別収集されたため、リサイクル

率のアップに繋がっている。
問 高等学校等通学費補助事業で、前年度に比べ申請者が20人増えたが、どのようにして増えたのか。また、今後どうやって申請者数を増やしていくのか。

答 ホームページ、広報紙、また吉井地域、赤坂地域の対象者に対して周知を行っており、増加の要因となっている。各種要望があり、慎重に検討し、より良い制度設計を行っていききたい。

産業建設常任委員会所管部分

問 がんばろう赤磐コロナ対策農林業者支援事業と、がんばろう赤磐コロナ対策農業収益向上事業について説明を。
答 農林業者支援事業は、農業者の売り上げが前年若しくは直近の年度の比較で20%以

上落ちている人に対して、落ちた金額の2分の1以内、上限20万円を交付する事業である。農業収益向上事業は、主に施設や機械類をコロナ対策で購入した集落営農団体や2人以上の複数で組んだ団体に、上限100万円を交付する事業である。

問 企業誘致奨励金と企業立地促進奨励金の関係について、交付企業が重なることはあるのか。交付した企業のうち赤磐市外に本社があるのは何社か。また、審査は書面審査だけなのか。
答 企業誘致奨励金の企業が6社、企業立地促進奨励金が1社、物流施設誘致促進奨励金が1社で、そのうち1社に重複して交付している。

赤磐市外に本社があるのは5社である。また、審査は現地で確認している。

予算 常任委員会

9月22日に予算常任委員会を行った。
議案8件について審査した。

問 国からの補助金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金7919万9千円はどの事業に充当したのか。
答 企画関係事業に770万円、生活交通対策事業に140万円、保育園・こども園の感染症対策に504万円、商工振興対策に1400万円、施設維持

管理費に781万円、防災費に4322万円。感染防止に関する事業、原油高の影響を受ける事業者に対する支援に割り振りした。

地域活性化事業実施及び地域データ分析システム委託料に577万円計上

問 地域活性化事業のイベント委託料の中身の説明を。
答 山陽団地等の活性化推進のために住民の地域への主体的な関わりを促進し、住民同士のつながりづくりのために地域の方と協力してイベントを実施する。幼稚園、小学生を対象にワークシヨップを主体とした「ひかりの実」プロジェクトというイベントをしたいと思っている。

問 地域データ分析システム委託料の中身の説明を。
答 市が保有している

データ等を分析、可視化して将来予測を行うことが大事だと考えている。住民のニーズ、現地の課題に即した的確な行政運営を行うことや住民サービスを向上させるための計画策定等を行っている。そういう計画策定や政策立案に活用していくためにデータを分析するための委託料である。

公共交通事業者支援金に140万円計上

問 タクシー事業者7社の地域は。
答 赤磐市内に本社がある一般旅客自動車運送事業者で、山陽地域3社、赤坂地域1社、熊山地域1社、吉井地域2社である。

空き家改修補助金を800万円増額

問 増額の詳細説明を。
答 1件当たり100万円を上限に支給する

事業で、当初予算には2件を計上していたが、プラス8件の申請を見込んでいる。
コロナの影響で地方への移住を検討した人が、コロナ発生から2年が経ち、いろいろなところを検討した中で、赤磐市を選んだタイミングが今回重なったと分析している。

感染症対策事業に4322万円計上

避難所の非常用電源確保を目的に防災用発電機の購入及びマスク等の衛生用品に係る経費

問 検査キットは宅配を予定しているのか。
答 前回は薬局での店頭配布のみであったが、今回は有症状、濃厚接触者も対象にしており、薬局と併せて宅配を予定している。

外国語指導助手業務委託料の債務負担行為に577万円計上

問 外国語指導助手業務委託料について説明を。
答 現在、小中学校17校に9人配置して業務に当たっている。

問 現状の使い方が3年間、固定されるのか、いくらか時代の変化とともにアレンジが可能か。
答 今年度末で現在の業務契約が終了する。その後、令和5年度から3年間の予算を計上している。この間は同



外国語指導助手

じ費用で契約を考えている。

問 お金の使い方という意味で、今現在と同じことをするしかないのか、いくらか目的に沿ったアレンジができないのか。
答 この費用は、人件費、研修費、管理費、ALT滞在費、企画費などを見込んでいる。そうした費用の見積りを持って事業者派遣をお願いする事業で、アレンジが可能かどうかという質問だが、別途費用が発生すると思う。従来どおりの形で債務負担行為補正を計上している。

※債務負担行為とは、将来の支出を予め約束する行為のことです。次年度以降に経費の支出(＝債務)を義務付ける契約を締結するときにご利用します。

赤坂ファミリー公園 テニスコート
テニスコートの改修
工事に8540万円
計上



赤坂ファミリー公園 テニスコート

問 支援金の支給方法と、支給対象となる事業者は。
答 市内に本社または営業所などを有し物流貨物運送を行い、今後事業継続の意思が

問 再度設計するということだが、今回の請負工事金額は前の設計で出た金額なのか。
答 令和2年度に設計をしているので、人件費、使用材料、使用資機材の単価について見直しをしていきたい。工事請負費については、この予算内に収まるものとする。

産地パワーアップ事業助成金に1854万円計上

問 産地パワーアップ事業助成金の対象、人数は。果樹に限定か。
答 農業資材導入費用の2分の1を補助する。営農条件は農業者3戸以上、10ヘクタールの営農規模。今年度は6名分を計上。果樹がメインだが幅広く使える。

がんばろう赤磐原油高騰対策支援金に1400万円計上

ある貨物自動車運送業法の許可を得ている事業者が対象である。
問 支援金の支給金額と申請期限は。
答 トラック1台当たり3万5000円で400台分、1者当たり上限100万円を支給。申請期限は令和5年2月末までを予定している。
問 支援金の積算根拠は。
答 コロナ禍、ウクライナ情勢以降の原油の価格上昇分を1リットル当たり5円と積算し、トラックの平均燃費・走行距離を基に1年間の価格上昇分を1台当たり3万5000円と設定した。
問 市内の対象となる業者数は。
答 山陽地域が15者、赤坂地域が12者、熊山地域が5者、吉井地域が3者でトラック協会のデータを基に35者と見込んでいる。

観光振興対策事業費（講師謝礼）を60万円増額

問 誰を対象とした講習会をするのか。
答 対象は市内の農業者、観光協会の会員。

問 赤磐市はインバウンドに対する政策はあるか。宿舎は考えているか。
答 コロナ前の外国人観光客3000人まで復活させたい。宿泊は

以前から問題があるが、最終的判断には至っていない。

河川管理用ラジコン型草刈機導入経費に781万円計上

問 ラジコン型草刈機の台数、単価は。町内会への貸出しは可能か。講習はどうなるか。
答 2台781万円を導入する。貸

出しは使用時期の調整が必要。機種により運転講習が必要になった場合は体制を整える。



ラジコン型草刈り機

ようこそ赤磐市へ



令和4年10月4日に「埼玉県和光市議会文教厚生常任委員会」があかいわハートフル太陽の視察に訪れました。

総務 常任委員会

9月16日に総務常任委員会を行った。
議案2件について審査した。

条例の 一部改正

赤磐市職員の育児休業等に関する条例

問 改正で、どうい立場の人の働き方が柔軟になるのか。実例を挙げて説明を。

答 男性職員が妻の出産直後に育児休業を取得する場合、これまで雇用が育児休業取得から1年半後まで約束されていないといけなかったが、改正により

約8カ月先まで雇用されないということが明らかでない場合は、育児休業が取れるようになる。

問 非常勤職員の任期は1年か。

答 会計年度任用職員の任期は3月31日である。再任用職員も、3月31日であったん切れる。よって、任用は1年ずつである。

問 常勤と非常勤の違いの説明を。

答 常勤職員は、1日7時間45分を週5日勤務し、定年退職するまで勤務する職員で、非常勤職員は、任期または勤務時間が限られた職員である。

赤磐市消防団条例

問 改正によりどれぐらの費用増となるのか。

答 災害規模により上下するが、約2000万円の出増が見込まれる。

問 消防団員の定数が975人の理由は。
答 それぞれ旧町単位で人数の区分けがあるためこういった数になる。規則で細かい人数分けをしている。

厚生文教 常任委員会

9月20日、厚生文教常任委員会を行った。議案2件について審査した。

請願第3号 医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める請願について

主な意見
・エッセンシャルワーカーには他に、運

問 出勤報酬について、人探しは、「その他緊急の場合」に入るのか。
答 そのとおりである。

問 出勤報酬と費用弁償の違いの説明を。
答 出勤報酬は、災害に対して出勤した時間により報酬対価を支払うもので、費用弁償は、交通費である。

問 出勤報酬について、人探しは、「その他緊急の場合」に入るのか。
答 そのとおりである。

問 出勤報酬と費用弁償の違いの説明を。
答 出勤報酬は、災害に対して出勤した時間により報酬対価を支払うもので、費用弁償は、交通費である。

請願第4号 精神保健医療福祉の改善に関する請願について

主な意見

うことは大変重要なことだと思うので賛成する。

・精神科の医師が確保できるのかという問題もある。また、確保できたと仮定すると、費用がかさむことになるので、精神科の病院経営が立ちゆかなくなる可能性もあり元も子もない。拙速に結論を出すのではなく継続審査にすべき。

・赤磐市も保育士不足で非常に苦労している。まず賃金の問題が語られなければ、本当の解決には至らない。保育士や看護師等の有資格者だけでなく、事業を支えて働く人たちに対する賃金をちゃんとベースで上げるとい

・自分が認知症にならない保証も、精神的に病まないという保

産業建設 常任委員会

9月15日、産業建設常任委員会を行った。議案2件について審査した。

証もない。その時に残された家族が少しでも楽になるということを考えると、賛成する。
・認知症等は、恥ずかしいから言わないというようなことがあり、一般的に口に出して言えない。赤磐市としてもそういった問題があるということを注視しながら、医療の関係も重要視して、福祉を充実させていくということも含め賛成する。

一般質問



市の考えを問う

14人の議員が登壇し市の考えをたきました。
一般質問通告事項は次のとおりです。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。

質問議員	質問事項	質問議員	質問事項
安藤 利博 11ページ	<ul style="list-style-type: none"> 桜が丘中央の再開発について、具体的な検討を 財政改革への具体的取り組みは 	保田 守 15ページ	<ul style="list-style-type: none"> 赤磐市の公共施設の男子トイレにもサニタリーボックスの設置を コロナ禍の小・中学校の設備の安全点検はできているのか
松田 勲 11ページ	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における地域経済活性化対策について マイナンバーカードの普及促進について 	永徳 省二 16ページ	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力テスト結果について 災害時の対応について
金谷 文則 12ページ	<ul style="list-style-type: none"> レフトオーバー食材の有効活用について 新型コロナウイルスへの対策について 今、赤磐市として一番に取り組んで結果を出さなければならないことについて 	鼻岡 美保 16ページ	<ul style="list-style-type: none"> 桜が丘線中央分離帯対策 市民バス運行について、バス停とバス停外乗降 選挙公報配布と移動投票制度 「住宅セーフティネット」(家賃補助制度)について
大森 進次 12ページ	<ul style="list-style-type: none"> 愛育委員・栄養委員活動の支援を 市営住宅の今後について 女性消防職員の充実を 	大口 浩志 17ページ	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通について 子育て支援について 広報(お知らせ)について 過去の一般質問その後について
下山 哲司 13ページ	<ul style="list-style-type: none"> 是里、斗有地区農業政策について 農林業コロナ対策について 吉井地域雨水対策事業について 	佐藤 武文 17ページ	<ul style="list-style-type: none"> 処遇改善手当の支給は背任横領罪になるのではないのか 本庁舎の整備は計画どおり実施できるのか 就農等支援センターの計画は取り下げべきではないか 学力テストは満足のいく結果であったのか
佐藤 武 13ページ	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等管理計画について 市独自の不妊治療支援について 全国学力テストについて 		
福木 京子 14ページ	<ul style="list-style-type: none"> 山陽団地の中心部に市有地確保を 補聴器購入の助成制度導入問題について 高校生の通学費補助の拡充を 保育園の定員問題について 		
治徳 義明 14ページ	<ul style="list-style-type: none"> コロナ対策について 物価高騰対策について 部活動改革、部活動の地域移行の取り組みについて 精神障がい者支援について 		
原田 素代 15ページ	<ul style="list-style-type: none"> 松の広葉樹林化 公道上の屋根の許可 ふるさと納税のコメ 一般事務の説明は十分にしているか 		

表紙の一言

津崎地区の花火大会の様子です。「津崎地区圃場整備の完了記念」と「コロナで落ち込んでいる空気を吹き飛ばして元気を出そう」という趣旨で行われました。



安藤利博議員

地権者との交渉と並行して 再開発の検討を



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

桜が丘中央再開発

問 9年半の地権者との交渉経過の説明を。町内会への協力依頼は考えにないか。

答 信頼関係の構築に努めているが、具体的な交渉内容は今の段階では答えられない。連合町内会にもタイミングによっては協力を申し入れていく。

問 岡山交響楽団演奏会で、赤磐市にはオーケストラが演奏できるホールがないこと、音楽文化を求める市民が大勢いることが明確になった。このままで良いと考えるか。

劇場法では、音楽堂は公共財とされている。赤磐市文化振興ビジョンでも、「ホールや美術館機能を備えた

施設の整備充実に努める」とある。

答 市長は5年前に福田廉之介ホール建設が夢だと言った。今も変わらないか。

答 公民館、交流センターの稼働率が低迷している。新たにホールを建設することは市民の理解が得られない。岡山連携中枢都市圏の公共施設の相互利用についても研究している。

財政改革の具体策

問 企業版ふるさと納税額は県内の市の中で下から2番目。赤磐市と縁が無い企業からの寄附は考えられない。企業誘致奨励金支給企業への市長自身の取り組みは。

答 トップセールスは、企業との信頼関係

を構築する有効な手法であると認識しており、私自ら企業訪問を行っている。

問 新たな事業、新規投資をするには今までの歳出を見直さなければ不可能。歳出削減、見直し策は。

答 全ての事業を対象に、当初予算編成において見直していく。市民の理解、協力を得られるよう努力する。



岡山交響楽団演奏会の模様



松田 勲議員

地域経済活性化対策を



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 原油価格、物価高騰等により、経済的にも大きな打撃を受けている。市民の家計はますます圧迫され、市内中小事業者の収益も厳しい。単なる一過性でなく、他市のようにスマホを使った自治体アプリで情報発信するなど、次につながるような新たな経済活性化対策をすべきではないか。

答 これまでも持続化支援金の交付。キャッシュレス決済推進事業。観光・飲食店支援事業として、スタンプラリーを実施してきた。今回は、衛生用品配布事業の拡充に加え、運送事業者やタクシー事業者を対象とした支援金について、議案を提出している。地域の実情を踏まえなが

問 カードの普及促進を図るため、申請の登録支援からポイント還元のやり方までをお手伝いできる相談コーナーを各支所に設置したり、訪問専用車の導入に取り組んだりすべきではないか。

また、総務省が23年度予算の概算要求の中で、自治体マイナポイント事業の全国展開を考えているという情報

もあるがどうか。

答 総務省からも情報をもらっている。市民生活部以外の課に及ぶところもあると思うが、全体として前向きな取り組みを考えていく。そういう中で、赤磐市のオリジナルティが発揮できるような取り組みがないものか検討を進めていく。

マイナンバーカードの普及促進を



コロナ対策事業のパンフレット



金谷文則議員

一番に結果を出すべきものは



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 赤警市として一番に取組んで結果を出さなければならぬことは何か

答 コロナもあり、競争による物価高もあるが、全国的に問題のある過疎化対策。

赤警市でも都市化している地域においては一番の問題ではないかもしれないが、過疎化している地域においてはその影響で、学校問題という社会問題が、一番の問題だと思う。今は、コロナ対策が一番だとは思いますが、一過性のものと考えれば、赤警市が成り立っているためには、何が一番必要で何をしなければならぬかお聞きする。

健康を守ることでこそ最優先課題。今回、抗原検査キットの配布など、感染拡大防止にかかる予算も提案している。ワクチン接種に向けた体制の確保など、基礎自治体としての責務を果たしていきたい。中長期的には、魅力を上向きさせるための諸事業を行政改革と並行しながら推進する。広域交通の利便性を生かした企業誘致の更なる促進はもとより、河本、岩田地区に予定する新拠点整備では、市民に明るい未来を描いてもらえるようなプランの実現に尽力する。

問 行政として、過疎のことは、ここ1年、2年の問題ではない。全国的だが、それをいかに止めるか。これが地域の行政の一番やらなければならないことではないか。赤坂や吉井や熊山の一部は、住む環境が無いのでは。認識の違い。現実満足はない。他市より優位だとは、恥ずかしいのではない方がある。

答 他市と比べ、人口・子どもの数は多い。将来に向けての希望はしっかりある。



新たなまちづくり構想図

詳しくはこちらでご覧になれます。

問 愛育委員・栄養委員が活動しやすいように環境整備を行う必要があるのではないか。

答 市民に喜ばれ、愛育委員・栄養委員がやりがいを持って活動するために、選出時の条件設定、活動範囲の拡充、新規事業への取組方法など、事務局もそれぞれの組織と協議し検討をしていきたい。

問 活動を継続維持するために、活動補助金・定員選出・年額報酬・他の委員との役割分担の見直しなどどう考えるのか。

答 委員報酬・活動費の見直しなどは分析をして、委員から意見をもらい進めたいと思う。

問 市が管理する市営住宅の状況は。空き部屋、跡地は今後どのよ



大森進次議員

愛育委員・栄養委員の活動支援の状況は



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

うに活用するのか。

答 市営住宅の総戸数は19団地、279戸、耐用年限を過ぎ維持管理が困難な15団地、184戸は空き家でも入居募集を行っている。入居可能な住居数は5団地、95戸で入居数は66戸である。

入居募集を行っていない団地は、1棟全てが空き家となった段階で住宅用途を廃止し、計画的に除去を行う。除去後は、行政財産から普通財産へ所属変えをし、有効な土地利用を検討していく。

問 女性消防職員が採用され、火災、救急の現場で活躍し市民から信頼と評価を得ているが、現在の2名では24時間、365日体制の現場では不十分と思う。

長期的なビジョンで採用、人材育成が必要ではないか。市の考えは。

答 消防庁の指針で、職員数の女性割合を令和8年度に5%に上げる達成目標を掲げている。市の方針は、数値目標はもとより、女性が働きやすい環境づくりを基本に、採用拡大の強化に取り組み、施設整備や装備品の充実を図っていきたい。



女性消防職員



下山哲司議員

農林業者のやる気が 失せない施策を



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

是里、斗有地区の農業
政策について

問 新聞に載った事業
の現状はどうか。

答 桃・ブドウの産地
の維持、生産規模拡大
に向けた取り組みとし
て、生産団地整備をす
る。現在、桃は斗有地
区、ブドウは是里地区
を中心に進めている。

問 事業内容、年数、
規模はどうか。

答 斗有地区について
は、主に客土、畦畔除
去の本年度着工を予定
している。是里地区に
ついては、整備する圃
場が決まり次第、国の
補助等を活用し、事業
を進める。

農林業コロナ対策につ
いて

問 3年間の事業とし

て成功してないので
ないか。

答 定量的に結果、効
果が測れるものではな
いと思っており、補助
を受けた方へ満足度あ
るいは効果を聞いて、
次に向けての情報にし
ていきたい。

問 今後の政策につい
ては赤磐市の土地を守
る考えで農業に専念し
ている方が精神的な問
題でやる気が失せない
ような施策をどう考え
るか。

答 いい助言をもらっ
たと思う。実現できる
ところを実現していく
よう努力していきたい。

吉井地域雨水対策事業
について

問 この事業は国から
の下水道補助事業で、
これを利用して防災に



福田地区

も活用するのは市長の
権限である。そのあた
りはうまくやってほし
い。残っている部分の
問題をどう考えるのか。

答 指摘を受けた内容
を踏まえ、これから先、
地元の地域の安全・安
心確保のための事業展
開、必要な事業として
実現していきたい。



佐藤 武議員

全国学力テストの評価と 今後の取り組みは



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 全国学力テストの
県順位や平均正答率が
公表されたが、非常に
残念な状況と断言せざ
るを得ない。県内自治
体小・中学校の3科目
合計点トップと比較
し、小学校で13点、中
学校で22点もの開きが
ある。点数や順位に一
喜一憂すべきではない
が、現実の結果として
真摯に受け止めなけれ
ばならない。学力向上
のための効果的な取り
組み策はどうか。

答 結果分析は県と連
携し、市教委が行う中
で非常に厳しい結果だ
と認識している。
今後の取り組みとし
て、学校ごとの学力の
現状や課題をもとに改
善プランを作成し、授
業改善と学校全体の学

力向上など、正答率の
目標ポイントに一步で
も近づきよう、しっか
り取り組んでいく。
市独自の不妊治療支援
について

問 本年4月から一部
の不妊治療が保険適用
化されたが、一方で国、
県の助成制度、市の助
成事業は廃止となっ
た。高度な先進医療等
は保険適用外となり、
保険治療で結果が出な
ければ先進治療をやめ
るケースもある。改め
て市の助成制度を創設
する考えはないか。

答 先進医療等は個人
負担が増加し、困って
いる人がいることも確
認している。負担状況
や他の助成制度とのバ
ランスを考慮し、慎重
に検討したい。

問 遊休施設利活用や
民間売却なども含め、
検討作業はどの程度進
展しているのか。

答 民間貸付や売却を
積極的に行うこととし
ている。計画では、施
設保有量を10年ごと
に1割削減する目標と
なっているが、それに
近づけていきたい。



桜が丘中央の市有地



福木京子議員

山陽団地の中心部に 市有地確保を



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 山陽団地の中心部は更地になっている。民間が買うより先に市がこの土地を確保すべきではないか。4500人弱の人口のまちづくりとしても市が責任を持つて土地と施設をつくるべきだ。

答 現在、所有者により施設の解体、土地の整地、事業者の募集など有効活用に向けて積極的に取り組まれている。市は、当該地の重要性を伝えて、民間事業者の進出に期待をしている。

問 補聴器購入助成制度がある自治体が広がっている。自治体検診に聴力の項目を入れることや補聴器購入助成制度の導入を。

答 難聴を含め老化に伴う身体機能の低下に対応した社会生活支援を行うことの効果など見極めながら研究していく。

問 燃料費の高騰や物価高で生活が大変になっている。子育て中の世帯は教育費にお金がかかり、少しでも軽減されることを願っている。交通事業者にも、子育て世帯にも喜ばれる施策として制度の拡充を今こそやるべきだ。

答 より多くの人にこの制度を利用していただくよう周知を図っていく。拡充も含めた制度の見直しは要望もいただいているので、よりよい制度になるよう

検討していく。

問 若い世帯が急増の山陽地域の保育園の定員は不足していないか。

答 各園と情報共有などして市が中心になって利用調整をしていく。

問 コロナ禍、ウクライナ危機、気候変動等の影響で国際的に資源や穀物価格の高騰に加え、急速な円安が物価高騰に拍車をかけている。物価高騰対策として、さらなる生活支援、経済支援が必要である。

答 ①エネルギー価格高騰に伴い厳しい状況が続く運送事業者への対策は。②クーポン券の発行やキャッシュレス決済キャンペーンや水道料金の減免など幅広い市民にメリットのある取り組みが必要では。

問 働き方改革の進展を背景に学校単位での部活動維持が厳しさを増す中、子供たちの部活動の機会の確保や充実に向けて学校主体の取り組みから地域主体の取り組みが始まろうとしているが、現状や今後の取り組みは。

答 学校の小規模化で、子供たちのスポーツや文化活動に親しむ機会が減少している。部活動改革が必要である。令和3年度から磐梨中学校がモデル校に指定されて取り組んでいる。モデル校の取り組みの課題等を踏まえ、推進計画の策定を行う。

問 精神障がい者は、就労率が低くサポート

答 あかいわ精神障がい者家族会連合会からも強い要望がある。市単独の助成制度の前進も検討が必要である。

さらなる物価高騰対策が 必要では



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。



更地になっている山陽団地中心部

問 少子化や教職員の

部活動の地域移行の取り組みについて

答 ①市独自の運送事業者への支援策を行う。②市内部で協議を進める。

問 精神障がい者は、

精神障がい者支援

答 精神障がい者は、就労率が低くサポート



磐梨中学校の部活動の様子



原田素代議員

市長に「一般事務」の 説明責任を求める



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 ①市長の母屋と倉庫の間の公道上の屋根設置について②市内の農家の米を吉備中央町方式でふるさと納税で取り扱うこと③市長の親族の事業所が、ふるさと納税でトップの売り上げをしているなど、この1年間で明らかになった。市長に市民への説明責任を求める。

答 私的な問題の答弁は今後しないことに徹底する。私のことに不適正なもの、違法なものは一切ない。これが市民への答えである。

問 中止した地区の理由は。

答 安全対策、事業効率、植生などの観点で見直した。

問 前立腺がん・膀胱がんなどによって、尿失禁や頻尿がある高齢者がいる。おむつや尿漏れパットを使用して

握り状況に応じて設置を検討していく。

答 提案は聞いておく。

問 減らした理由がトンチンカンだ。安全上なら、全部中止にすべきだ。いづれ全部広葉樹林化するし、費用対効果もない。空中散布をやめた後の始末は。

答 現在、男子トイレには大人用のオムツに配慮したサイズのサニタリーボックスは設置されていない。市役所本庁舎にも多目的トイレや一部の男子トイレにおいてはサニタリーボックスを設置しているが、どれもサイズが小さいものとなっている。提言をもらったサニタリーボックスは、これより少し大きなサイズと判断するが、今後公共施設全般にわたり、トイレの現状を把握

問 今後新庁舎にはいろんなことを考えてやってほしい。

答 庁舎の改修に併せて、スペースが許す限り設置を進めていきたい。

問 「保全すべき松林」と「周辺松林」を都道府県知事が定めているが、赤磐市の指定はどうか。

答 通告にないので、資料を持っていない。

問 コロナ禍の小中学校の設備の安全点検はできているのか

答 コロナ禍の中でやるべきことが手薄になっていくのではないかと心配している。県庁所在地の中の市区の調査の結果で1298カ所に問題があったと新聞に発表された。赤磐市においては、点検は十分できているのか。

問 コロナ禍の小中学校の設備の安全点検はできているのか

答 市内の小中学校において、施設・設備・

遊具などの点検については、各小中学校で行う日常点検を月一回実施しており、点検結果により修繕が必要な箇所については、順次実施している。今後も日常点検・定期点検等により部材の異常等が確認された場合は学校と教育委員会で情報共有し、早期対応に努めていく。

問 執行部が担当委員会で配布した資料である。わからないとは無責任だ。植生の調査はいつからか。

答 直近では、令和2、3年にしているが、いつからかは資料がないため、答えを控える。

問 前立腺がん・膀胱がんなどによって、尿失禁や頻尿がある高齢者がいる。おむつや尿漏れパットを使用して

握り状況に応じて設置を検討していく。

問 今後新庁舎にはいろんなことを考えてやってほしい。

答 庁舎の改修に併せて、スペースが許す限り設置を進めていきたい。

問 「保全すべき松林」と「周辺松林」を都道府県知事が定めているが、赤磐市の指定はどうか。

答 通告にないので、資料を持っていない。

問 コロナ禍の小中学校の設備の安全点検はできているのか

答 コロナ禍の中でやるべきことが手薄になっていくのではないかと心配している。県庁所在地の中の市区の調査の結果で1298カ所に問題があったと新聞に発表された。赤磐市においては、点検は十分できているのか。

問 コロナ禍の小中学校の設備の安全点検はできているのか

答 市内の小中学校において、施設・設備・

遊具などの点検については、各小中学校で行う日常点検を月一回実施しており、点検結果により修繕が必要な箇所については、順次実施している。今後も日常点検・定期点検等により部材の異常等が確認された場合は学校と教育委員会で情報共有し、早期対応に努めていく。

問 執行部が担当委員会で配布した資料である。わからないとは無責任だ。植生の調査はいつからか。

答 直近では、令和2、3年にしているが、いつからかは資料がないため、答えを控える。

問 前立腺がん・膀胱がんなどによって、尿失禁や頻尿がある高齢者がいる。おむつや尿漏れパットを使用して

握り状況に応じて設置を検討していく。

問 今後新庁舎にはいろんなことを考えてやってほしい。

答 庁舎の改修に併せて、スペースが許す限り設置を進めていきたい。

問 「保全すべき松林」と「周辺松林」を都道府県知事が定めているが、赤磐市の指定はどうか。

答 通告にないので、資料を持っていない。

問 コロナ禍の小中学校の設備の安全点検はできているのか

答 コロナ禍の中でやるべきことが手薄になっていくのではないかと心配している。県庁所在地の中の市区の調査の結果で1298カ所に問題があったと新聞に発表された。赤磐市においては、点検は十分できているのか。

問 コロナ禍の小中学校の設備の安全点検はできているのか

答 市内の小中学校において、施設・設備・

遊具などの点検については、各小中学校で行う日常点検を月一回実施しており、点検結果により修繕が必要な箇所については、順次実施している。今後も日常点検・定期点検等により部材の異常等が確認された場合は学校と教育委員会で情報共有し、早期対応に努めていく。

問 執行部が担当委員会で配布した資料である。わからないとは無責任だ。植生の調査はいつからか。

答 直近では、令和2、3年にしているが、いつからかは資料がないため、答えを控える。

問 前立腺がん・膀胱がんなどによって、尿失禁や頻尿がある高齢者がいる。おむつや尿漏れパットを使用して

握り状況に応じて設置を検討していく。

問 今後新庁舎にはいろんなことを考えてやってほしい。

答 庁舎の改修に併せて、スペースが許す限り設置を進めていきたい。

問 「保全すべき松林」と「周辺松林」を都道府県知事が定めているが、赤磐市の指定はどうか。

答 通告にないので、資料を持っていない。

問 コロナ禍の小中学校の設備の安全点検はできているのか

答 コロナ禍の中でやるべきことが手薄になっていくのではないかと心配している。県庁所在地の中の市区の調査の結果で1298カ所に問題があったと新聞に発表された。赤磐市においては、点検は十分できているのか。

問 コロナ禍の小中学校の設備の安全点検はできているのか

答 市内の小中学校において、施設・設備・

遊具などの点検については、各小中学校で行う日常点検を月一回実施しており、点検結果により修繕が必要な箇所については、順次実施している。今後も日常点検・定期点検等により部材の異常等が確認された場合は学校と教育委員会で情報共有し、早期対応に努めていく。

問 執行部が担当委員会で配布した資料である。わからないとは無責任だ。植生の調査はいつからか。

答 直近では、令和2、3年にしているが、いつからかは資料がないため、答えを控える。

問 前立腺がん・膀胱がんなどによって、尿失禁や頻尿がある高齢者がいる。おむつや尿漏れパットを使用して

握り状況に応じて設置を検討していく。

問 今後新庁舎にはいろんなことを考えてやってほしい。

答 庁舎の改修に併せて、スペースが許す限り設置を進めていきたい。

問 「保全すべき松林」と「周辺松林」を都道府県知事が定めているが、赤磐市の指定はどうか。

答 通告にないので、資料を持っていない。

問 コロナ禍の小中学校の設備の安全点検はできているのか

答 コロナ禍の中でやるべきことが手薄になっていくのではないかと心配している。県庁所在地の中の市区の調査の結果で1298カ所に問題があったと新聞に発表された。赤磐市においては、点検は十分できているのか。

問 コロナ禍の小中学校の設備の安全点検はできているのか

答 市内の小中学校において、施設・設備・

遊具などの点検については、各小中学校で行う日常点検を月一回実施しており、点検結果により修繕が必要な箇所については、順次実施している。今後も日常点検・定期点検等により部材の異常等が確認された場合は学校と教育委員会で情報共有し、早期対応に努めていく。

問 執行部が担当委員会で配布した資料である。わからないとは無責任だ。植生の調査はいつからか。

答 直近では、令和2、3年にしているが、いつからかは資料がないため、答えを控える。

問 前立腺がん・膀胱がんなどによって、尿失禁や頻尿がある高齢者がいる。おむつや尿漏れパットを使用して

握り状況に応じて設置を検討していく。

問 今後新庁舎にはいろんなことを考えてやってほしい。

答 庁舎の改修に併せて、スペースが許す限り設置を進めていきたい。

問 「保全すべき松林」と「周辺松林」を都道府県知事が定めているが、赤磐市の指定はどうか。

答 通告にないので、資料を持っていない。

問 コロナ禍の小中学校の設備の安全点検はできているのか

答 コロナ禍の中でやるべきことが手薄になっていくのではないかと心配している。県庁所在地の中の市区の調査の結果で1298カ所に問題があったと新聞に発表された。赤磐市においては、点検は十分できているのか。

問 コロナ禍の小中学校の設備の安全点検はできているのか

答 市内の小中学校において、施設・設備・

遊具などの点検については、各小中学校で行う日常点検を月一回実施しており、点検結果により修繕が必要な箇所については、順次実施している。今後も日常点検・定期点検等により部材の異常等が確認された場合は学校と教育委員会で情報共有し、早期対応に努めていく。

問 執行部が担当委員会で配布した資料である。わからないとは無責任だ。植生の調査はいつからか。

答 直近では、令和2、3年にしているが、いつからかは資料がないため、答えを控える。

問 前立腺がん・膀胱がんなどによって、尿失禁や頻尿がある高齢者がいる。おむつや尿漏れパットを使用して

握り状況に応じて設置を検討していく。

問 今後新庁舎にはいろんなことを考えてやってほしい。

答 庁舎の改修に併せて、スペースが許す限り設置を進めていきたい。



稲刈り



男子トイレに設置されたサニタリーボックス



永徳省二議員

惨たんたる 学力テスト結果だ



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

全国学力テスト結果について

問 教育長の感想は。

答 厳しい結果だと捉えている。

問 来年度以降のテスト結果の数値目標は。

答 令和5年度平均正答率を全国平均プラス

0・5ポイント、令和6年度に全国平均プラス1ポイントとなるように取組を進めている。

問 数値目標達成のための具体的施策は。

答 学力向上担当者会の開催等を行い、学力

向上の取組を推進する。

問 研究指定校はどこか。

答 令和4、5年度は、山陽東小学校と桜が丘

中学校を指定している。

問 学習の手引きを作成、配布している学校

はどこか。

答 市内全校で作成し、配布している。

災害時の対応について

問 今後、30年間に発生する可能性が70%から80%の割合で

南海トラフ巨大地震は、いつか必ずやって来る。赤警市人口のほ

ぼ43%、1万8670名が居住する桜が丘地区に

対して、災害時の対応について質問する。

私が、阪神・淡路大震災を明石市で経験した時、一番困ったのは、水及びトイレだった。

桜が丘地区は丘陵地帯で川がないため、

間違いない水、トイレに困ることは想像できる。

配水池の場所はどこか。

答 桜が丘の東の山中

に3カ所ある。

問 配水池は震度6に耐えることが可能か。



桜が丘地区の配水池

に3カ所ある。

問 配水池は震度6に耐えることが可能か。

答 旧耐震基準で建設されていることから、耐震性は十分ではない

可能性がある。

問 桜が丘東浄化センターが被災した場合の対応は。

答 負荷を低減する意味で、熊山浄化センターに流すという工事を数

年前から行っている。



鼻岡美保議員

桜が丘の 中央分離帯の対策を



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

桜が丘の中央分離帯

問 見通しが悪く事故

が起こりやすい。対策を取ってほしい。

答 昨年度、新たに設置した開口部に、「転

回注意」の看板を設置した。樹木の撤去、伐

採など見通しを良くし看板設置を進めたい。

計画的に設置を実施していく。

選挙公報配布と移動投票制度

問 公報の情報が届かず投票しなかった人も

いる。何%の世帯に届けられたか。町内会経由や

郵送など工夫が必要だ。

答 平成25年以来約50%の投票率。選挙公報は約55%の世帯に他

市町同様、新聞折り込

みで届けた。支所や本

庁、期日前投票所等に配置している。郵送に

についても、対応は可能だ。

問 投票所が減少し投票率も低い。総務省が

取り組むよう通達を出している移動投票制度

を取り入れてはどうか。

答 市民バス等の運行で、期日前投票の利便

性は図られている。移動投票制度の導入は考

えていないが、他市の状況も研究はしている。

市民バスの利便性を

問 バス整備をどう考えるか。

答 バス停サポーター制度としてベンチを設置している。物理的な

制約等から困難な場合もあるが引き続き対応していく。



桜が丘の中央分離帯の看板

住宅セーフティネット

問 子育て世帯、ひとり親世帯など「住宅確保

必要配慮者」への家賃補助制度は有効だが、

市の考えは。

答 特に地方部でこの制度がうまく活用できていない。国も制度の

見直しや拡充をしているので、状況を見たい。



大口浩志議員

保育料、第2子以降の無償化は



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

子育て支援について

問 国、県の施策の際に埋めるため、子育て支援策として、保育料第2子以降の無償化（所得制限なし）の検討は。

答 協議していく。

公共交通について

問 市民バス、地域によってはタクシー使用の検討は出来ないか。

答 有効な手法の一つだと認識している。地域の特性にあったサービスを提供していく。

問 地域の特性を知る上でも、地域公共交通会議は吉井支所で開くべきでは。

答 吉井地域で開催することが有効であれば検討する。

広報・お知らせについて

問 今後のDXの伸長も加味しながら、メールの使用は今後どのように検討しているか。

答 一部の地区では区長・町内会長へメールで通知している。郵送よりタイムリーに連絡ができるのがメリットなので、意向を聞いた上で活用を検討していく。

過去の一般質問について・防災関係

問 井戸水の活用は。

答 飲用としての提供は、まだまだ検討がいる。トイレ・シャワー等での利用は検討する余地がある。

問 海抜表示等は。

答 浸水区域は防災

マップで周知する。土砂災害警戒区域の表示は県が実施を検討している事業を活用して、設置を検討する。



市内私立こども園の園児たち

背任横領罪に該当では

問 社会福祉協議会において、理事会にも諮らず事務局職員に支給した処遇改善手当の支給は適正であったのか。

答 社会福祉協議会の裁量で行われたもので、市に権限が及ぶものでない。

問 支払った手当の根拠、金額は何を基準に決めたのか。社会福祉協議会は困った人々、市民を助ける非営利法人なのに、公金を不正に職員のものにするのは背任横領罪に該当するのではないか。

答 司法判断について論ずる立場ではないため、答えることができない。



佐藤武文議員

処遇改善手当の支給は適正であったのか



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

耐震補強工事の意味は

問 築40年以上経過した庁舎において耐震補強する意味があるのか。どのような不便があり市役所の改修を行うのか。

答 耐震補強を行うことで、長期にわたって有効に活用できる施設であると判断している。

就農支援センターは休止すべきでは

問 将来の農業形態を考へても必要性を感じられない。就農支援センターは休止した方がよいのではないか。

答 地域農業の基盤を盤石にするため、就農支援センターは必要不可欠である。

意識改革が必要では

問 義務教育の学習は大切であるが、それ以上に社会性を身に付けさせることが大切で、教育委員会の意識改革が最も重要ではないか。

答 生涯にわたって学び続けることができるよう、根を張った教育行政を進めていく。



庁舎の全体像

第52回岡山県市議会議員研修会（オンライン）に参加しました

開催日

令和4年8月18日

場所

熊山支所大会議室

演題

誰一人取り残さない
～互近助で作る防災に強いまち～

講師

防災システム研究所所長
防災・危機管理アドバイザー 山村 武彦 氏

所感

本庁舎耐震化工事のため議会が熊山支所に移転して初めての研修会となりました。昨年同様オンラインにて行われました。世界中で発生する災害の現地調査を手掛けるなかで、真備町水害の的確な分析には説得力がありました。近くの人が助けるシステムとして、「互近助」による災害に強いまちづくりを熱く語られました。赤磐市の防災に生きる学びがある研修会でした。

議会全員協議会

7月19日

主な協議・報告事項

- ・庁舎等整備事業について
- ・全体工事期間、工事対象施設事業目的について説明があった。
- ・赤磐市の新たなまちづくりについて立地適正化計画の策定にむけ、イラストになったプランをもとに協議した。
- ・予算説明資料の見直しについて
- ・費目ごとの内訳を明示しない形で開示することとした。

・その他

赤磐市議会の移転について説明があった。

8月23日

主な協議・報告事項

- ・令和4年9月第4回赤磐市議会定例会（日程・提出議案）について
- ・決算審査特別委員会について

9月29日

主な協議・報告事項

- ・タブレット端末の導入について

赤磐市議会ホームページ

ホームページでは議会の情報や、本会議、委員会の中継を配信しています。



(議会中継)



(会議録)



(市議会だより)

赤磐市議会

検索

編集後記

議会は市役所本庁舎が耐震改修工事のため、来年の8月までの予定で熊山支所に仮移転しています。使い慣れた本庁舎の議場ではなく、3階まで階段で上がる熊山支所に約1年通うことになりました。少し手狭ではありますが、住めば都といわれるようななかなか居心地がいいもので、議案の審議にも力が発揮できると思っています。

エレベーターが無いため傍聴される方には不自由をお掛けしますが、ぜひ傍聴にお越しください。季節の変わり目は何かと体調を崩しやすいので、体調管理に気をつけたいものです。

議会では10月に、タブレット端末を導入し、12月議会定例会からの本格運用に向けて研修を重ね、個々のスキルアップを図っているところです。